

決算特別委員会

Q&A

Q 地方交付税の今後の見込みは。

A これからはトップランナー方式※1ということで、基本的には国の財政再建ということがあることから、税制改革等も入って、地方交付税の交付額は減る傾向ですので、IC周辺開発等により、町で税収を確保していくように考えています。

Q 地域コミュニティの中で、組合から離れる方が多いと聞いているが、組合への加入を進める中で、役場でも協力してほしい。

A 年間何件か組合を抜ける方がおります。町としても、チラシを新しく作成し、新規加入者や転入の方に配付しております。今後も各課と連携をしながら加入促進に努めていきたい。

Q 不法投棄が前年と比較して12件増えているが、今後の対策・対応は。

A 不法投棄については、道路であったり、排水路に捨てられていたり、毎年違う状況です。捨てられていた場所には啓発看板等に対応しており、今後パトロール等を踏まえ件数が減少するように努めていきたい。



Q 防犯灯は770か所設置し、前年は6か所設置とのことだが、毎年どの程度設置しているのか。

A 設置は、寄附等もあり増えている年度もありますが、概ね同程度設置しています。新たに設置する際は、全てLED化して設置しています。

Q 決算書において町民税等について、現年度で不能欠損額がある理由は。

A 現年度で不能欠損する場合としては、外国人の方が既に出国されている等、確実に徴収が見込めないものについて即時欠損ということで対応しています。

Q 過疎地有償運送※2ということで、現在ごかりん号が回らない地域をカバーするという意味では、基本的に誰でも乗れるのが前提かと思えますので、現在は登録制なので、費用や使い勝手の問題と合わせて、今後の検討に入れていただきたい。

A 過疎地有償運送は利用者が限られます。公共巡回バスが通ってないところを利用するには、どちらかというところをうまく加味して、今後、制度とうまく絡む事ができるか検討しながら進めていきたい。

Q シルバー人材センターの運営補助金が、前年より500万円ほど増えているが理由は。

A 昨年度、法人格を取得し、規模が大きくなって独立しました。法人格になると国の補助金が付きますが、町も同程度補助する制度のため、合わせた部分で補助金が増えました。

Q 公園維持管理事業の決算額が500万円ほど増えているが、童夢公園の遊具は、老朽化により撤去されている。どういう方針で撤去されているのか。撤去する前に修理で対応すべきではないのか。

A 都市公園等については、年1回、公園の遊具の点検を業者に委託し、実施していません。早い段階で修理できるものは修理をしていますが、特に危険であるものについては撤去している状況です。

Q 現在の中央公民館の図書室の蔵書数と新刊図書について。

A 現在の図書室における蔵書数は1万9千冊ほどで、毎月新刊図書として、一般用と児童書で20冊から30冊を購入しています。図書室の入り口と受付のカウンターに新刊案内として周知しています。

用語解説

※1 トップランナー方式…
最小限の経費で最大限の効果を上げている自治体の経費を参考として、地方交付税の算定に反映させること。

※2 過疎地有償運送…
過疎地その他これに類する地域において、その地域の住民が日常生活に必要な用務を特定非営利法人等が自家用車を用いて有償で運送をする制度。

町では、社会福祉協議会に「在宅福祉サービス運営事業」として委託しています。